

「津付道路の起工式が開催されました」

～大船渡地方振興局土木部 津付ダム建設事務所～

津付ダム建設事業は、昭和52年の予備調査開始から実に30年を経て、このたび、初めての工事に着手することとなりました。

このため、大船渡地方振興局では、今回の起工を祝すとともに、今後の工事の安全を祈願することを目的に、平成19年11月14日、津付ダム建設予定地内において地元関係者による起工式を開催しました。



鍬入れの様子

(右から大船渡市長(代理副市長)、大船渡振興局長、住田町長、陸前高田市長)



起工式の前に行われた神事の様子



起工式での大船渡地方振興局長挨拶

【来賓】

津付ダム地権者会の皆様

大船渡市長

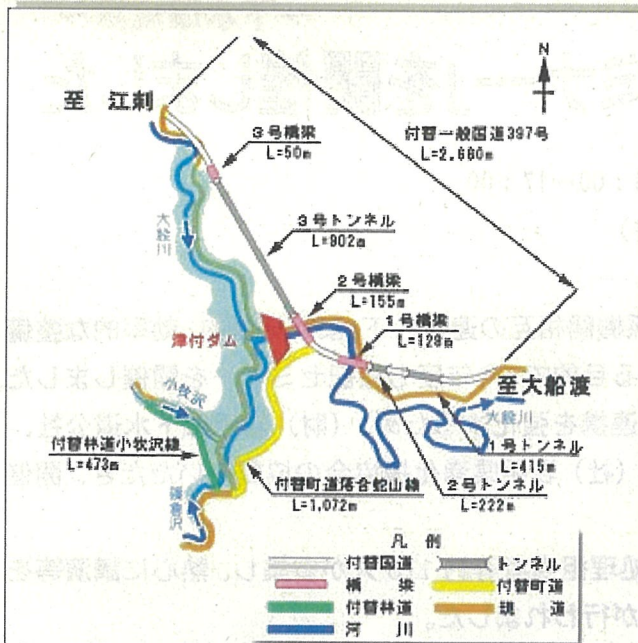
陸前高田市長

住田町長

住田町議会議長

住田町議会副議長

◆津付道路について



津付ダム完成時のフォトモンタージュ

(津付ダム建設事務所 HP

「<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/>」より)

岩手県では、気仙郡住田町世田米字子飼沢地内の二級河川気仙川水系大股川において、治水専用の『津付ダム』の建設を進めています。

津付ダムは、昭和52年度から予備調査に着手し、昭和56年度には実施計画調査の国庫補助採択を受け、平成12年度には国庫補助による建設事業に採択されています。

津付ダム建設に伴い、現在の国道397号を付け替える必要がありますが、当該国道は現道拡幅等の改良の必要もあることから、平成17年度から『津付道路』として道路改築事業（国庫補助事業）と併せて事業施行することとし、調査、設計等を行い、これまで着工準備を進めてきたものです。

【津付道路の概要】

施工延長	L=2.7km	(現況 約3.5km 約800m短縮)
道路規格	第3種3級	(現況 第3種4級)
標準幅員	W=9.50m	(現況 6.50m)
設計速度	V=60km/h	(現況 40km/h)

津付道路を含めた国道397号の整備により、大船渡市と水沢江刺駅が約60分で結ばれます。